

株主の皆さまへ

2020 年 度 中間期

2020年4月1日～2020年9月30日

目次

- P1.....●社長メッセージ
- P3.....●トピックス
- P5.....●業績ハイライト
- P6.....●連結財務諸表
- P7.....●会社概要
 - 大株主の状況
 - 株主構成

みんなのATM。
みんなのセブン銀行





株主の皆さまには平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

「セブン-イレブンにATMがあったら便利なのに…」そんなお客さまのニーズに応じて誕生したセブン銀行は、2001年の開業以来「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」ご利用いただけるATMサービスの提供を通じ、安全かつ効率的な決済インフラの構築に努めてまいりました。おかげさまで2020年9月末には、国内ATM設置台数は25,382台となり、1日約230万人のお客さまにご利用いただく、生活に無くてはならない社会インフラの一つへと成長いたしました。

私たちは、新たな事業・サービスの創造を通じて「社会課題解決への貢献」と「企業価値の向上」の双方に「誠実」かつ「真面目」に取り組む、「社会の期待と信頼」に応え、持続的成長の実現に努めてまいります。

代表取締役社長 舟竹 泰昭

社会インフラとしての使命を務め、新たな成長機会を追求

当社を取巻く環境は、かつてないスピードで変化し、そのスピードはますます加速しております。このような環境の中、当社は創業来の成長期から成熟期を経て、第2の創業とも言うべく、変革の時期を迎えております。確立した本業を今まで以上にしっかりと発展させつつ、収益構造に厚みをもたせるための「事業の多角化」と、その実現を加速させる「構造改革」を推進してまいります。

本業では、昨年9月よりスタートした第4世代ATMへの入替えを進め、「ATM+（プラス）」の世界を開拓していきます。お客さまの生活に身近な多機能型プラットフォームとして新たなサービスを提供し、社会インフラとしてのATMが果たすべき今までにない役割を創造していきます。

本年8月には、ATM初となるマイナポイントの申込みを可能にしました。原則24時間、全国どこでも、簡単に申込みができるということでご好評をいただいております。

また、事業の多角化を進めるにあたり、「個人」「居住外国人」「BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）」「セキュリティ」「法人」の5つの分野を国内における金融サービス事業の重点領域として決めました。

個人向けの金融商品・サービスにおいては、ローンや海外送金サービスなどの既存サービスの利便性向上・収益力強化に加え、今年度はスマートフォンから最短10分で口座開設ができるアプリ「Myセブン銀行」の提供を開始いたしました。

社是

1. 私たちは、お客さまに信頼される誠実な企業でありたい。
2. 私たちは、株主、お取引先、地域社会に信頼される誠実な企業でありたい。
3. 私たちは、社員に信頼される誠実な企業でありたい。

経営理念

1. お客さまのニーズに的確に応え、信頼される銀行を目指します。
2. 社員一人一人が、技術革新の成果をスピーディーに取り入れ、自己変革に取り組んでいきます。
3. 安全かつ効率的な決済インフラの提供を通じて、我が国の金融システムの安定と発展に貢献します。

倫理憲章(項目のみ抜粋)

1. 銀行の公共性・社会的責任の自覚
2. お客さま第一主義の実践と時代のニーズに合ったより高い利便性の提供
3. 誠実・公正な行動
4. 社会とのコミュニケーション
5. 人間性の尊重

また、連結子会社の株式会社セブン・グローバルレミットおよび株式会社Credd Financeを中心に、日本に住む外国人の方に向けた与信関連サービスの提供を開始いたしました。

連結子会社の株式会社バンク・ビジネスファクトリーでは、事務処理自動化機能(RPA)を活かした事務受託ビジネスを拡充し、共通インフラとしてのBPO分野の一層の強化を図っております。また、連結子会社の株式会社ACSiONでは、セブン銀行が培ってきた金融犯罪対策のノウハウをモデルにした不正検知プラットフォーム「Detecker」ディテッカーやオンライン本人確認サービス「proost」プローストの提供を順次開始し、デジタル化が進む中、益々求められてくる「安心・安全」を提供できる金融インフラの確立に努めております。

さらには、銀行での資金移動サービスに加え、売上金

入金サービスやリアルタイム振込、連結子会社の株式会社セブン・ペイメントサービスの「ATM受取」(現金受取サービス)等を組み合わせることで、中堅・中小企業を中心とした法人の決済に関連するサービスを当社のビジネス分野の一つとして取組んでいきたいと考えております。

海外事業では、連結子会社のFCTI,Inc.による米国セブンイレブン店舗へ設置したATMの安定稼働と収益・利益への貢献に加え、成長するアジア地域でのビジネス拡大への取組みも強化しております。インドネシアでは連結子会社PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL (ATMi)が自社ATM運営を柱として事業拡大を推進し、着実にATM設置台数および利用件数を増加させております。

このような取組みの結果、当中間期の連結業績は、経常収益683億円、経常利益187億円となりました。

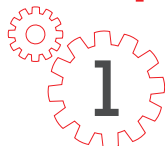
株主の皆さまからのご支援にお応えして

当社では従来より、安定的な配当を株主の皆さまへの利益還元の基本方針としております。配当性向40%以上を最低目標に定め、当中間期では期初の計画通り、1株当たり5.5円の配当を実施いたしました。

今後も社会課題の解決と企業の成長を両立させる方針

のもと、新たな分野への積極的投資、インフラ事業者としての事業継続に必要なリスクへの備えを行いつつ、株主の皆さまへの還元を着実に実施してまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



1 マイナンバーカードに対応したセブン銀行ATM ～マイナポイントの申込みが可能になりました～



セブン銀行は、総務省が実施するマイナポイント事業において、申込支援端末を提供する民間事業者として採択され、本年8月にATMでのマイナポイントの申込みを開始いたしました。今後もセブン銀行ATMは、お客さまの生活に身近な多機能型プラットフォームとして、新たなATM利用スタイルを提供していきます。

マイナンバーカード読取り機能を実装

- トップ画面に「マイナンバーカードでの手続き」ボタンを新たに追加 ●



マイナポイントの申込みには下記が必要です。予約(マイキーID設定)が済んでいない方の申込みも可能です。

1	マイナンバー カード	+	2	利用者証明用 パスワード(4桁)	+	3	申込みをする決済 サービスのカード またはID等
---	---------------	---	---	---------------------	---	---	--------------------------------

【セブン銀行ATMでのマイナポイント申込概要】

申込期間 2021年3月31日(水)まで **利用時間** 原則24時間 **利用手数料** 無料

(マイナポイント申込みはどこで手続きしても手数料無料です)



本サービスの詳細については、
以下Webサイトをご覧ください。

https://www.sevenbank.co.jp/oos/adv/tmp_213.html

2 サステナブルでイノベティブな組織風土を創り上げていきます



セブン銀行では、経営理念や長期ビジョンの浸透、部署・社員間の相互理解から生まれる一体感を礎とした、組織横断的なコミュニケーションの強化のため、従来のコミュニケーション形式にとらわれることなく複数の新たな取組みを実施しています。真面目で堅実な組織風土を大切にしながらも、環境変化に迅速に対応しながら、チャレンジしやすい組織を目指していきます。

組織横断的なコミュニケーション強化の目的と施策

目的

内部環境変化

事業の多角化

業務の細分化

働き方の多様化

新たな課題

社内のコミュニケーション希薄化・一体感の不足

得たい成果

企業の一体感の醸成・組織力の向上

誰もが働きやすい環境づくり

施策

経営理念、ビジョン等の浸透施策

- 従業員向け決算説明会
- 若手社員と社長とのオンライン交流会

部署・社員間の相互理解の推進施策

- 社内オンラインセミナー

コミュニケーション活性化施策

- コミュニケーション研修

働き方改革を一層推進

セブン銀行は、時間や場所に縛られない柔軟な働き方で組織と個人の生産性を最大化することを目的に、在宅勤務を中心としたリモートワークや始業・終業時刻を繰り上げまたは繰り下げて勤務することが可能なスライド勤務など新しいワークスタイルの在り方を模索しています。従業員が自律的に働き、成長できる環境を整えることが働き方改革の目指すものであると考えています。



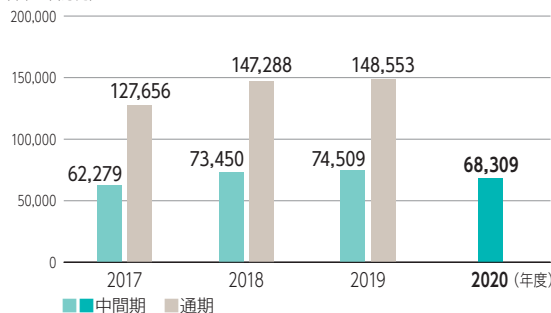
今までより
家族との時間が持てる
ようになりました。



仕事に集中して
取組めます。

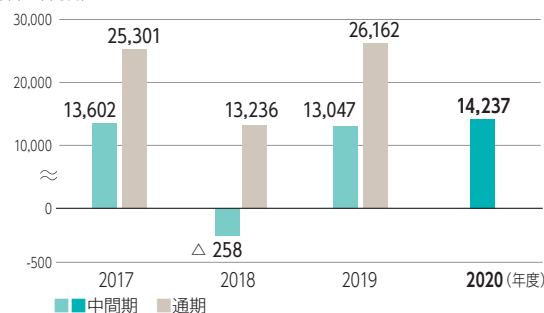
収益性 経常収益(連結)

(単位:百万円)



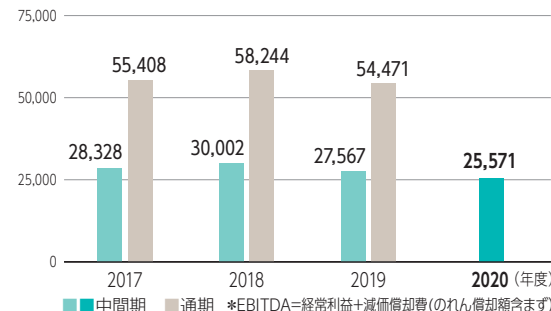
収益性 親会社株主に帰属する当期(中間)純利益・純損失(連結)

(単位:百万円)



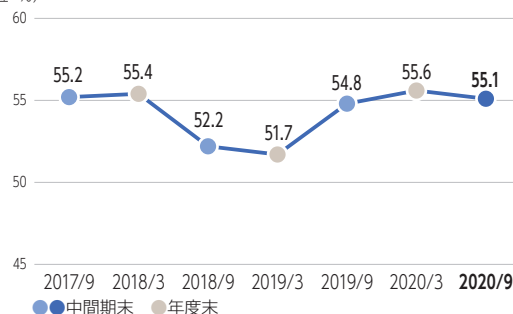
収益性 EBITDA(連結)

(単位:百万円)



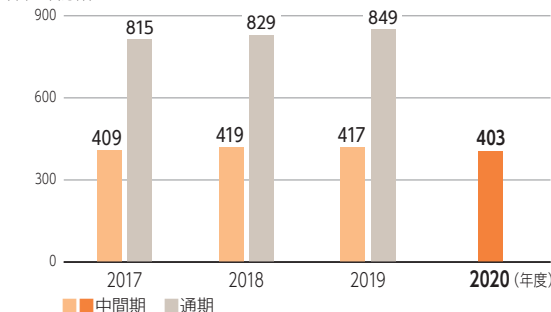
健全性 単体自己資本比率(国内基準)

(単位:%)



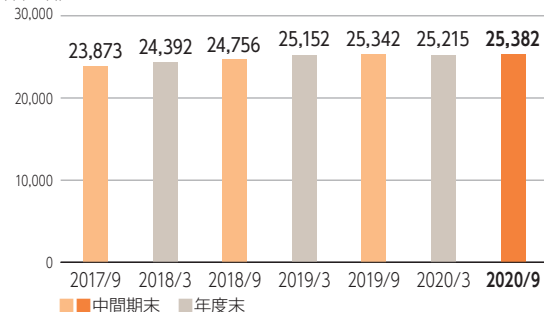
事業規模 ATM利用件数の推移(単体)

(単位:百万件)



事業規模 ATM設置台数の推移(単体)

(単位:台)





連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	2019年度末 (2020年3月31日)	2020年度 中間期末 (2020年9月30日)
資産の部		
現金預け金	848,446	894,048
有価証券	70,911	77,048
貸出金	23,283	22,859
外国為替	0	0
ATM仮払金	81,965	84,249
その他資産	16,365	16,064
有形固定資産	13,985	15,826
無形固定資産	29,665	32,457
退職給付に係る資産	378	410
繰延税金資産	909	889
貸倒引当金	△ 25	△ 35
資産の部合計	1,085,885	1,143,818
負債の部		
預金	683,760	737,894
譲渡性預金	800	800
借入金	196	300
社債	105,000	105,000
ATM仮受金	45,052	43,958
その他負債	27,288	25,318
賞与引当金	573	519
退職給付に係る負債	3	3
役員退職慰労引当金	4	5
株式給付引当金	236	567
繰延税金負債	137	113
負債の部合計	863,051	914,481
純資産の部		
資本金	30,702	30,724
資本剰余金	30,757	30,724
利益剰余金	155,760	163,512
自己株式	△ 338	△ 1,081
株主資本合計	216,882	223,880
その他有価証券評価差額金	499	225
為替換算調整勘定	3,767	3,674
退職給付に係る調整累計額	62	55
その他の包括利益累計額合計	4,329	3,955
新株予約権	274	—
非支配株主持分	1,346	1,501
純資産の部合計	222,833	229,337
負債及び純資産の部合計	1,085,885	1,143,818

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	2019年度中間期 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)	2020年度中間期 (自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日)
経常収益	74,509	68,309
資金運用収益	1,774	1,777
(うち貸出金利息)	1,717	1,718
(うち有価証券利息配当金)	12	14
役務取引等収益	72,553	65,352
(うちATM受入手数料)	68,714	61,503
その他業務収益	127	136
その他経常収益	53	1,042
経常費用	54,363	49,517
資金調達費用	355	269
(うち預金利息)	54	36
役務取引等費用	20,519	17,776
(うちATM設置支払手数料)	15,717	14,145
(うちATM支払手数料)	2,641	1,400
営業経費	30,424	31,097
その他経常費用	3,064	373
経常利益	20,145	18,792
特別利益	48	12
固定資産処分益	48	12
特別損失	42	50
固定資産処分損	42	50
税金等調整前中間純利益	20,151	18,754
法人税、住民税及び事業税	7,115	4,463
法人税等調整額	△ 13	121
法人税等合計	7,102	4,585
中間純利益	13,049	14,169
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)	1	△ 68
親会社株主に帰属する中間純利益	13,047	14,237



会社概要 (2020年9月末現在)

- **名 称** 株式会社セブン銀行
(英名: Seven Bank, Ltd.)
- **本 社 所 在 地** 東京都千代田区丸の内1-6-1
- **設 立** 2001年4月10日
- **開 業** 2001年5月7日
- **資 本 金** 30,724百万円
- **発行済株式数** 1,179,308千株
- **従 業 員 数** 477人
(役員、執行役員、パート社員、
派遣スタッフを除く)

主な連結子会社

- **FCTI, Inc.** (アメリカ合衆国)
事業内容: ATM運営事業
- **PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL** (インドネシア共和国)
事業内容: ATM運営事業
- **株式会社バンク・ビジネスファクトリー**
事業内容: 事務受託事業
- **株式会社セブン・ペイメントサービス**
事業内容: 送金・決済サービス
- **株式会社セブン・グローバルレミット**
事業内容: 在日外国人向け金融サービス、銀行代理業、貸金業代理店
- **株式会社ACSion**
事業内容: セキュリティ等のサービス
- **株式会社Credd Finance**
事業内容: 在日外国人向け金融サービス

(他1社、計8社)



大株主の状況 (2020年9月末現在)

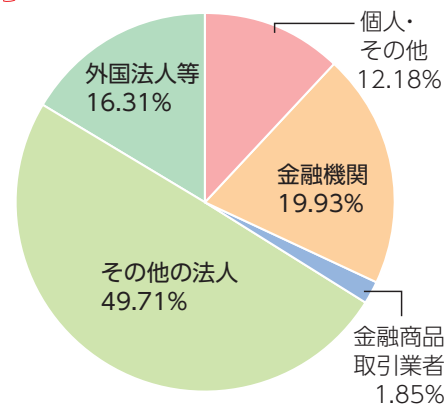
株主名	所有株式数	持株比率
株式会社セブン・イレブン・ジャパン	453,639千株	38.46%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	50,832千株	4.31%
株式会社イトーヨーカ堂	46,961千株	3.98%
株式会社ヨークベニマル	45,000千株	3.81%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	42,399千株	3.59%
STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM44	15,018千株	1.27%
株式会社三井住友銀行	15,000千株	1.27%
第一生命保険株式会社	15,000千株	1.27%
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	13,738千株	1.16%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	11,144千株	0.94%

※1 所有株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

※2 持株比率は小数点第3位以下を切捨てて表示しております。



株主構成 (2020年9月末現在)



※小数点第3位以下を切捨てて表示しております。



最新のお知らせやセブン銀行の紹介、
IRに関するお知らせなどがご覧いただけます。
<https://www.sevenbank.co.jp/ir/>



UD FONT
by MORISAWA

